



橋本市長
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、市民の皆さまには、不要不急の外出の自粛、マスクや手洗いなどの感染予防の徹底にご協力賜りましたことをお礼申し上げます。

本市といたしましては「生活応援クーポン」の配布や、地元産の農産物の送料を負担する「橋本ふるさと便」など市独自の対策を実施し、家計への支援および地域経済の活性化に取り組んでまいりました。今後も引き続き感染拡大防止を図りつつ、市民目線に立った対策事業に全力で取り組んでまいり所存です。

厳しいコロナ禍においても、安全・安心な活力ある元気なまちづくりを止めることなく進めていかなければなりません。感染予防を考慮した災害対策をはじめとして、地域の暮らしを支える地域運営組織の設立、ハートブリッジの強化による子育て支援の充実、産官学連携による魅力発信など、これからも創意と工夫によるまちづくりを推進してまいります。

「新しい生活様式」が定着しつつある社会で、市民の皆さまと行政の協働をさらに進め、橋本市の新しい一歩を踏み出すための一年としてまいりたいと存じますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



橋本市議会議長
土井 裕美子

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和三年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、外出や活動の自粛をはじめ、マスクの着用、リモートでの仕事や授業など私たちの生活が大きく変わり、不安とストレスの多い年となりました。他方、新しい生活様式が求められる中においても「人との絆、つながりの大切さ」を改めて感じることもできました。

在宅で仕事や勉強ができるリモートは便利ですが、膝を突き合わせて話したり、級友と肩を並べて勉強に勤しんだりすることのできるありがたさ、大切さを改めて実感しました。今回は帰省もままなりません、離れて暮らすあの人は元気かと思いはせる機会も増えたのではないのでしょうか。

議会では、この緊急事態に際し、議会BCP（市議会業務継続計画）を発動し、新型コロナウイルスに迅速かつ的確に対応できる組織を立ち上げ、市への提言や国、県への意見書提出などに取り組んでまいりました。

今後もまちづくり全般について、議会としての役割と責任を果たしながら、山積する課題の解決に向け、新しい時代感覚と明確なビジョンをもって取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。新たな年が、市民の皆さまにとって笑顔で暮らせる輝かしい一年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。